



奏 KaNaDe®

KaNaDe02bf

¥32,000(2個ペア・税込) Amazonにて販売中

●材質：特殊開発の樹脂 ●サイズ：100mmΦ×13Hmm ●質量：約220g(1個)

※写真左が表面で右が裏面。溝の形状は表は〈+〉で裏が〈×〉になるように設計され、非対称とすることで、振動をアインレートする仕組み

リピーターが続出するのも当然の効果
広く魅力を知って欲しい筆者推薦のアイテム

鮮度やスピード感を生み
音像の彫りも深まっていく

早速わが家で「KaNaDe02」

だ。ただし金属の粒を使っているため、前とか後ろ向きとかの極性はKaNaDeにはない。
もうひとつは、研磨の精度が違う。スピーカーって結構軽いんですよ。そのため密着度がいまいち。もうちょっと研磨をきれいにできないかな……。といったら、社長がこっちの精密自動研磨機を使おうといってくれました。スピーカー側(+)側のつるつるの面が、何と1/1000mmを越える限界まで磨き込まれ、つるつるのピカピカだ。



(株)金井製作所、インシュレーター部の開発担当である小林 満さん

を試した。KEFのLS50やLINNのKATANといったコンパクトモニターで試したが、この「KaNaDe02」は13mmと薄いのので安定度がよい。推奨どおり「+」の向きにセッティングをすると、おっとのけぞる変化である。これはかなりシビアなので必ず守って欲しいのだが、振動で音楽が濁るようなことは皆無で、うまく誘導されずとノイズが落ちる。明らかに純度が上がって音場も澄みはじめ。高性能レンズのようにもう1〜2段フォーカスが鋭く、音像の彫りもぐんと深くなって生々しくなった感じだ。

個人的な趣味だが、スペンドーブルBC2やローサーP6などヴィンテージ系のスピーカーがどう鳴るのか気になっていた。普段は元気のあまりない、沈んだサウンドのはずがどうしたことか。音が目覚めている。陽が射し込んできたように明るい、クリアな音調となったのだ。30年若返ったようなと言いたい好ましい変化。敷くと敷かないとは、まさに雲泥の差といっていいたろう。

KaNaDeシリーズの進化と充実ぶりは目を見はるものがある。リピーターが多いのも当然だが、ぜひ実際に使ってみて、広く魅力を知って欲しい筆者推薦のアイテムだ。

ヴィンテージ系もお薦め
目覚めるようなクリアさ

NaDe02」によって鍛えられる。そのモデルの個性を消さず、むしろ積極的に引き出しつつ本質的なクオリティアップをしてくれる印象を持った。鳴りっぷりがよく、響きが豊かに躍動感も高まって、ひとまわり大きなスケール感が得られたのも頼もしい発見である。